

有朝

— 高橋英雄 詩集 —
第十三号

わが家①

令和3年9月4日

わが家は祈りの家
世界平和の祈りが内にみなぎり
外にまであふれ出ている。
「入り易いお家ですね」と
客人の口から思わず出るのは
「どうぞお入り下さい
一緒に祈りましょう」と
五井先生が救世の大光明が誘うからだろう
わが家は祈りの家
世界平和の祈りで満ちあふれている

わが家②

わが家の居間から玄関までの
短かい廊下は唱名ロード
五井先生くくと唱名しつつ
一步一步歩いてゆく。
この短かい道が
すべてに通じる道であると
意識して歩いている。

わが家③

視る人が視れば
わが家に天地を貫く光の太柱が立ち
光り輝いてあたりを照らしているのが
見えるであろう。
毎日毎日祈りつづけているから
救世の大光明は毎日輝いている。
地球のアジアの日本の関東の東京の
となりの市川を拠点の一つとして太柱たち
救世の大光明が光り輝く。
祈りの人よ来たりて俱に祈ろう
世の光となり
カルマの暗夜を照らす
灯台となろう！





人生を投げ出さない

令和3年9月10日

神さまに命を投げ出したけれど
人生は投げ出さない
どんなに苦しくても
どんなに辛くても
どんなに悲しくても
わが天命を完うせしめ給えと
五井先生を見つめつつ
人生の目的を貫徹する

救世の大光明の働きかけ

令和3年9月17日

あらゆる物事の起りの背後には
救世の大光明の働きかけがある。
だから私たちは国に対し人に対して
世界平和の祈りを祈る。
その国の天命の完うを祈る。
その人の天命の完うを祈る。
救世の大光明の働きかけに
国が動き民族が動き人が動き
地球人類はやがて一つ心になる。
まず地球の大調和と
人類の平和を祈るようになるだろう。

その先きかけとして
今 私たちは朝に夕に
世界人類が平和でありますように
と祈っている
神聖復活の印を組んでいる。
信ずる者は幸いなり
信ずる者には神のみ心は成就されている。
より一層 祈りは強力となり
救世の大光明は輝きと力を増す。

陰^{かげ}働き

令和3年9月15日

五井先生 救世の大光明さま
陰働きをさせて頂き光栄に存じます
世界平和の祈りによる働きは
絶大なるものでございますが
誰に知られるともなく
黙って神々が働き給っています
仏菩薩さまたちが働き給うています
在天の家内もその働き的一端を荷なわせて
いただいて
夫婦ともども光栄至極に存じます
私のこの世における生存日は
そう多くはありませんが
命終るまで陰働きをさせていただきます
五井先生のお役に立てることは
私たち夫婦の大きな喜びです
“わが天命を完うせしめ給え
み心のままになさしめ給え”
先生に教えていただいたこの祈り言を
今後もズツと唱えつづけ働きかせて頂きます

夫婦げんか

令和3年9月23日

(一)
夫婦げんかをして
「ごめんなさい」
最初にあやまるのは妻
しかし神さまの軍配は
いつも妻の方にあがっていた

(二)
家内が偉かったのは
まず家内があやまり
家内が私を先にゆるしてくれることでした
私をいい氣持にさせて
あとで痛烈に反省させられました。
(三)
家内はけんか上手でした
云い合いで勝つのではなく
いつも負けて勝っていました。

脱皮

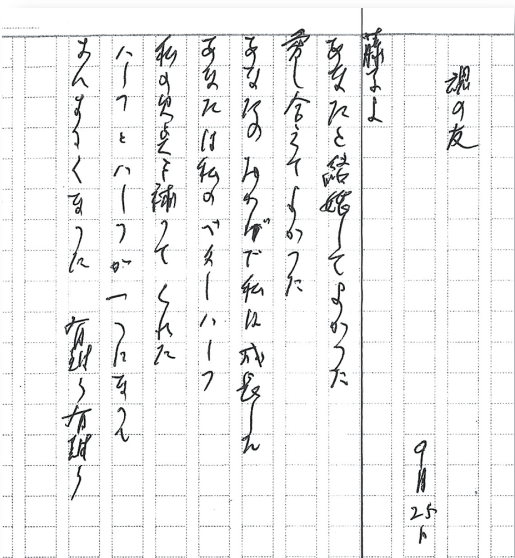
令和3年9月16日

私には死はない。
肉体界に生きる使命が終り
意識が肉体をはなれ
高次元体に移るのである。
救世の大光明の世界
五井先生の世界に移るのである。
当然 意識も変る
肉体界を去る時
五井先生に今までの意識を返還し
改めて神意識を頂く。
神の分霊の意識に目覚め
生命の永遠性の意識となる
自分をゆるし人をゆるし
自分を愛し 人を愛す
愛とゆるしと真(まこと)の神意識となるのだ。
神意識となつて
五井先生の偉大なるお働き
人類救済のお働き
地球完成のお働きをさせて頂くのだ
これすべて
世界平和の祈りを祈る人の
脱皮した姿である。

魂の友

令和3年9月25日

藤子よ
あなたと結婚してよかった
愛し合えてよかった
あなたのおかげで私は成長した
あなたは私のベターハーフ
私の欠点を補ってくれた
ハーフとハーフが一つになって
まんまるくなった 有難う有難う



立ちくらみ

令和3年9月29日

椅子から立ち上るたびに
たちくらみをする。
椅子に坐ってお祈りしている最中も
立ちくらみがして思わず
机に両手をおく。
意味のないものは私の人生には起らない。
この立ちくらみも
何かきつと意義があるのだろうか
深く追求せず祈りにきりかえる。
五井先生の唱名に統一する。
それだけになる。
私にとって五井先生の唱名と
世界人類が平和でありますようにと
唱えること自体が
何よりもかによりも大事な神事。
立ちくらみは現われては消えてゆく
雲の如きものか

楽天家

令和3年10月4日

あなたは天命を信ずる楽天家
自分には天命がある
その天命を完うさせようと
守護霊守護神さまが守っている
その上世界平和の祈りをしているので
運命はつねに上昇気流をおこし
よい方へよい方へと導かれている。
だからあなたは「絶対大丈夫」と信じて
ゆるがない。
運命はすべて天命に変わり
あなたは楽天家になった。

第十三号 編集後記

コロナ禍を機に高橋長老があたりこちらに
届けられた詩を、大阪支部機関誌「輝」に併せ
「有難う」としてお手元に送らせていただいております。
たくさん頂戴しました詩も、ようやく半
ば近く掲載致しました。初刊の頃はおとしを召
されたとは言え、まだまだ颯爽となさっていた
長老に校正までしていただいたものです。何と
厚かましいことかと、今思えば身の縮む思いで
すが、支部にとりましては掛け替えの無い財産
です。今、校正をしておりますとそのことを思い
出し、只々有難く励みとなっております。こうし
て出来上がりました十三号をお届け致します。

令和七年六月吉日 O・K

編集発行 白光真宏会 大阪支部

住所 〒550-0002

大阪市西区江戸堀2-7-32
ネオアージュ土佐堀303号

TEL 06-6444-8620

FAX 06-6444-8620

